



「茶箱は宇宙」展

2017年

3月6日[月] — 4月10日[月]

平成記念美術館 ギャラリー

open 10:00 close 18:00 休館日: 日曜日 観覧料: 無料

主催: 株式会社 平成建設

「茶箱は宇宙」展 特別講演 / 講師: 猪鼻徳壽氏

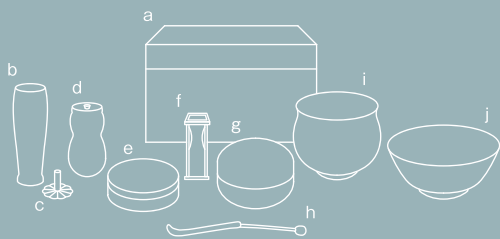
3月18日[土] 14:00 ~ ※ご予約はお電話、もしくは右記QRコードにて。



 平成建設



箱裏菊時絵茶箱



- a. 茶箱…茶箱の外側は春慶塗。内側は全て菊時絵が施されている。
- b. 茶筌筒…鉄刀木材に花菱蒔絵が雷文状に施されている。c. 茶筌立…銀製でエナメル七宝が施された茶筌立て。d. 振出し…紫檀材を型に繰り抜き、蒔絵が施されている。蓋付のお菓子入れ。e. 香合…漆を何層にも重ね塗をし、俱利伽藍の香合。f. 茶巾筒…銀製で四面に花の毛彫が施されている香道具からの転用である。g. 平棗…渡辺喜三郎作の真塗棗に守屋松亭が菊の花束図を蒔絵した平棗。h. 茶杓…象牙製芋茶杓。i. 茶碗…黒地に蝶絵が画かれている薩摩系の茶碗。j. 茶碗…李朝の小振りの堅手平茶碗。 ※外箱には遠州流、小堀宗慶宗匠の書付がある。

茶箱は、お茶を楽しむお点前の道具一式をコンパクトにまとめ、持ち運び出来るようセットしたものです。実用品として旅行や野点(のだて)の席に用いたのは勿論ですが、さらに、様々な素材で作られた小さな茶道具たちを組み合わせ、一つの世界を創り上げる遊びとしても楽しまれてきました。茶箱に収納する道具は、小ぶりな茶碗を中心に棗(なつめ)や茶入れ、茶杓、茶巾筒、茶筌筒、振出し、その他に香合、建水などがあります。それぞれ箱に収まるサイズを探し、その世界観に合った布で仕覆(しふく)を仕立てたり網袋に納めたりします。様々な見立てや工夫が、小さな箱の中に宇宙を出現させるのです。茶箱の歴史は古く、千利休(1522年～1591年)の頃まで遡りますが、明治以降の女子教育としての茶の湯が盛んになり、実用的で可愛いピクニックボックスとしての茶箱も愛され、現代に至ります。

今回の「茶箱は宇宙」展では、茶箱の研究に長年携わっている猪鼻徳壽氏の茶箱、東京藝術大学の若手教員や学生が茶箱を勉強しながら仕立てた現代茶箱など、様々な茶箱の世界が並びます。好みの茶道具を集めてオリジナル茶箱を仕立て、春の野でお茶を一期楽しみたくなるかもしれません。



箱裏菊時絵茶箱



茶籠



鉄刀木と桐継板茶箱



「秋虫の声」
東京藝術大学教師による合作(水代 達史/宮崎 瑞土/高橋 賢悟
青木 宏暉/山本 直紀/橋本 圭也/地村 洋平/入沢 拓 8名)

平成記念美術館 ギャラリー

【お問い合わせ】03-3426-1103

開館時間 10:00～18:00 / 観覧無料

休館日：日曜・年末年始

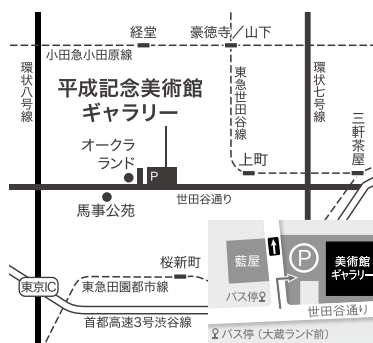
駐車場：全5台

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4

【電車】東急世田谷線 上町駅より徒歩10分

【お車】馬事公苑正門より世田谷通り沿いに東へ約650m

【バス】渋谷駅バス停 3番乗り場「成城学園前駅西口」行 渋24(東急バス/小田急バス)「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



次回企画展のお知らせ
information

2017年4月17日(月)～5月22日(月)

澤野新一郎 写真展

神々の花園 生命と大地

※スケジュールは予定の為、変更になる場合があります。